

1. < 施策の概要 >

基本理念	快適な暮らしを支える充実した居住環境のまちづくり	統括課	事業部 建設課
基本方針	基盤整備(道路・河川)		
施策名	基盤整備(道路)	関連課	
方針・目標等	◆新旧格差のないまちづくり。◆道路整備による生活環境向上。 ◆防災に強いまちづくり。◆住民協働による社会基盤管理。		
実施内容	◆重点化政策にかかる道路整備(南・中学校線、菱田・前川原線、祝園20号線等)。◆旧市街地の下水道整備に併せて生活環境の向上を図るため、道路整備を進める。◆道路管理について、クリーンパートナー制度を活用した住民協働のまちづくりを進める。		

2. < 指標の設定 >

	重点	指標名	単位	他団体比較				算式・引用等
				団体名	実績	年度		
①		道路改良率(町道全延長)	%					改良済み道路延長／道路延長
②		道路舗装率(町道全延長)	%					舗装済み道路延長／道路延長
③		道路改良率(1級町道)	%					改良済み道路延長／道路延長
④		道路舗装率(1級町道)	%					舗装済み道路延長／道路延長
⑤								
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(試算)	H24(試算)
①		目標	52.5	53.0	53.5	54.0	54.5	54.5
		実績	52.4	52.8	53.1	53.3		
②		目標	79.1	79.2	79.3	79.8	80.0	80.0
		実績	79.3	79.4	79.8	79.8		
③		目標	72.1	72.2	72.4	72.7	72.8	72.8
		実績	72.1	72.3	72.3	72.7		
④		目標	99.6	99.6	99.6	99.6	99.6	99.6
		実績	99.6	99.6	99.6	99.6		
⑤		目標						
		実績						

3-1. < 指標から読み取れる成果と課題 >

・道路舗装率の1級町道分については、舗装改良を進めてきたことにより比較的高い数字を示しているが、町道全体を見た場合、山間部などにある農道、林道的色合いの強い道路についても町道として認定していることから、高い数字とはなっていない。

・道路改良のネックとしては、本町の地理的な課題として鉄道と府道が平行していることから道路整備を行うに当たり踏切の拡幅改良は不可欠であるが、鉄道事業者から車両の滞留場所がないなどの理由で難色を示されている状況にある。

3-2. < 住民ニーズ等を踏まえた課題・他自治体の取り組みから学べる点 >

・生活道路整備については、新旧格差のないまちづくりの観点から、随時地元自治会等の要望を受け整備を進めているところではあるが、旧集落については人家が建ち並び道路拡幅を行うには困難な状況にあることから、拡幅可能な箇所から緊急車両等が家屋の近くまで近づけるような方向で整備を進めているところであり、また、通学路についても歩道の整備を順次進めている。

・道路整備プログラム等により事業の整備順位を決めているところもあるが、ほとんどが都市計画道路や幹線道路の整備であり、本町が現在整備を進めている生活道路の整備に関して道路整備プログラム等を作成し順位を決めることはなじまないと考えるものである。

4-1. <施策を構成する事業>

	重点	部 門 / 事業名 / 種別 / 決算書説明頁	事業費(人件費含む) / 事業費のみ / 事業費一財 <単位:千円>					
			H19(実績)	H20(実績)	H21(実績)	H22(実績)	H23(予算)	H24(試算)
1	○	建設課	-	-	61,901	8,269	4,991	28,741
		祝園20号線道路改良事業 (繰越明許含む)	-	-	56,866	6,708	4,250	28,000
		投資的事業 187,189	-	-	37,866	4,292	4,250	28,000
2	○	建設課	-	-	22,131	46,314	6,778	-
		舟・滝ノ鼻線道路改良事業 (繰越明許含む)	-	-	20,000	42,200	5,000	-
		投資的事業 187,189	-	-	13,500	26,860	5,000	-
3	○	建設課	-	-	6,122	1,368	29,581	31,581
		菅井・菱田線道路改良事業	-	-	5,200	787	29,000	31,000
		投資的事業 189	-	-	3,875	602	15,000	31,000
4	○	建設課 (都市整備課)	-	-	-	10,855	40,000	33,000
		僧坊・前川線道路改良事業 (繰越明許含む)	-	-	-	10,855	40,000	33,000
		投資的事業 187,189	-	-	-	6,072	30,000	0
5		建設課	-	-	2,230	3,157	3,975	3,975
		緊急雇用対策事業 (道路・公園事業分)	-	-	1,390	2,437	3,255	3,255
		一般事業 125	-	-	0	0	0	0
6		建設課	-	-	816	604	786	786
		土木総務事務費 (建設課)	283	218	239	204	386	386
		一般事業 183	-	-	220	189	376	376
7		建設課	-	-	114,361	116,204	141,400	141,400
		道路維持管理事業	95,161	99,045	94,487	99,530	124,726	124,726
		一般事業 185	-	-	94,362	99,408	124,584	124,584
8		建設課	-	-	-	31,138	-	-
		道路等改修事業 (きめ細かな臨交金)	-	-	-	26,429	-	-
		187	-	-	-	24,452	-	-
9		建設課	-	-	33,787	22,704	28,997	28,997
		道路新設改良単費事業	2,835	11,363	29,640	20,607	26,900	26,900
		投資的事業 187	-	-	29,640	0	26,900	26,900
10		建設課	-	-	92,440	182,138	67,332	72,517
		その他、南・中学校線道路改良事業等7事業	215,517	58,721	78,915	163,703	59,090	59,090
		-	-	-	50,425	118,085	59,090	59,090

4-2. <施策を構成する事業の成果と課題>

・道路新設改良の単独工事では、旧市街地の下水道工事に併せて従来からの要望があった側溝や路肩の修繕などを進めている状況にあり、事業を併せることで効率的な整備が図れ、周辺住民からの評判は良好である。その他、南・中学校線では、祝園駅周辺の整備として鉄道事業者へ委託を行い近鉄線及びJR線共に歩道整備が完了した。

・道路維持管理事業では、新興住宅からの苦情が多くあり、月平均40件程度の苦情とそれに対する応急工事の対応が発生している。

5. <施策の今後の方向性>

・旧市街地の道路整備、集落間道路の整備、特に山手幹線、国道163号、1級河川煤谷川整備に伴う地元要望の道路整備を重点的に整備を今後も推進していく。

・下水道整備に併せた住環境整備として、引き続き整備を進めていく。

・道路の維持管理について、旧市街地はもとより桜ヶ丘、光台等の新市街地についても、今後、舗装、道路照明等の各施設について老朽化が見え始めており順次修繕が必要な時期となっている。また、クリーンパートナー制度の啓発を行い、住民と協働した維持管理の推進を図る。